



今年も小さなよき社会人の育成に努めます

校長 米原 大司

今春は、温かさと寒さが入り混じり、桜の開花が平年並みの時期でしたが、開花してから寒い雨が続き、昨年同様に桜の花の見られる始業式・入学式となりました。本年度も引き続き大好きな岸町小学校の子どもたちと一緒に過ごすことができ、大変嬉しく思います。

さて、本校は学校教育目標を「かしこく やさしく たくましく なかよく」とし、豊かな心をもち、たくましく生きる児童の育成に取り組んでいます。そのために、まずは「児童が元気に登校する学校」を目指します。児童が元気に登校できるよう、「教職員が児童一人ひとりのよさを認め、そのよさを引き出す」ように努めます。そして、その成果として「保護者や地域の方が子どもを通わせたいと思える学校」となるよう全教職員で教育活動に取り組んでいきます。

標題に掲げた「小さなよき社会人の育成」については、昨年度から引き続きの学校テーマです。子どもたちは、学校の門を出たら、地域の一員です。言い換えれば「小さな社会人」です。自分の周りにいる方のことを気に留めながら、その時、その場に相応しい振る舞いのできる子どもたちを育てていきたいと思えます。

例えば、登下校の際に旗振りをしてくださる保護者や地域の方に自分からあいさつをすとか、前から人が近づいてきたらその人の通り道を開けるとか、そんなことがさりげなくできる子に育ててほしいと願います。現在、あいさつについては、私に対してはできる子が多いですが、保護者や地域の方にはまだまだできていません。また、登下校の歩行は2列までにしようとして子どもたちに伝えていますが、学校近くの緑道を結果的に横に広がってしまい、前から人が歩いてきてもそれを気にすることなく相手に道を譲ってもらっています。

「凡事徹底」や「率先垂範」について、今は、子どもたちが言葉として認識したり、その言葉の意味を理解したりしている段階です。本年度は、子どもたちがその言葉の意味を実感し、自ら行動に移せるよう働きかけてまいります。そうすることで、友達の保護者や地域の方から愛され、大切にされる子どもに育つと考えます。

本校には、学習支援ボランティアやチャレンジスクールの講師をしてくださる地域の皆様が多数いらっしゃいます。そこにPTAをはじめとする保護者の皆様にも御支援とご協力をいただき、学校、家庭、地域が手を携え、岸町小学校の子どもたちを皆で育てていきましょう。